

# GDS国際シューフェア参加報告

サンダー商事株式会社 代表取締役社長 轟 豊 藏

## 1 靴業界の現状

今、靴業界は、グローバル化が加速している。中国を中心としたアジア諸国から低価格の商品や半製品等の輸入が急増している。一方、欧米諸国からの高級ブランド品への人気が高く、しかも、直販店が原宿界隈、銀座、丸の内等の繁華街に多数見られるようになり、この傾向は今後も続き、ブランド間の競争はますます激しくなるものと考えられる。

因みにいえば、9月に表参道に開店したルイ・ヴィトンジャパンの初日の売上が1億円を超え、'01年度の申告所得は前年比26%増えており、日本での人気は根強いものがある。

日本は長引く不況下で、革靴の生産も消費も落ち込んでいる。市場が落ち込んでいるため低価格受注や多品種・小ロット受注、短納期など利益の取りにくい環境になっている。

東京の靴メーカーも淘汰が増える傾向で、空洞化が進んでいる。また、企業の経営者にも事業の再構築に取組み、厳しい環境を打開し、活性化に努め、企業の再生を図るという積極的な姿勢の企業が多くなっているが、東京産地の存立基盤が脆弱化してきたことは心配である。

## 2 参加の目的

厳しい状況を打開する方向を探り、その成果を自己企業の経営に活用することと業界に普及し、活性化に少しでもお役に立つことを目的に参加した。

また、これまで開けられない欧米諸国への靴輸出のパイプを繋げたいという強い気持ちを持ってチャレンジした。



繁華街にあるブランド店

- (1) GDS(\*)への来場者及び出展者、また、デュッセルドルフの商店で物を買ひ、街を行き交う人々から、見て・聞いて・手で触れるなどヨーロッパ情報を直接体験することで、初めて自分(企業)のファッション感覚や技術力、機能性、商品の出来ばえ、付加価値の付け方、ブランドの育て方など物作りに取り組む姿勢と、靴の価格帯や商品の売り方などを経営に活用することは極めて大事なことであった。

(2) 国内産革靴市場が縮小するなかで、東京産地が元気な企業として継続していくには、ヨーロッパ市場等へ参入し、取引や情報の交流を深めていくことが極めて大事なことであると思う。

(3) 従来、東京製品は高価格で欧米諸国との取引は不可能と言われ、GDSでも目ぼしい成果はあまり得られないと聞いていたが、これを打開する糸口を必ず探して見せるという、高い信念と燃える情熱と心に期する何かがあった。



イタリア会場でのコマ風景

### 3 成功に向けての取組

今まで、GDSへ出展して取引が成立しなかったのは、日本の靴は、技術、品質もよく見栄えもよいが、値段が高すぎて取引の話が進まないと言われていた。この問題を煮詰めることが、成功への道と考えた。

- (1) 自社の個性を持った自信のある新商品（企業のメッセージを込め）を出展する。
- (2) 取引を開始する前提で値段を押さえた。
- (3) 売る気で参加した。
- (4) 来場者の要望に積極的に対応するため、商談員は専門的知識があり、答えを出せる責任者が良いと考え、婦人靴と紳士靴に分担した。



通路でウィンドを見て商談へ進む



椅子に座って具体的商談へ繋がった



今回好評だった靴

#### 4 成果

価格が高いという理由で、欧米諸国へ靴の輸出が出来ないと言われていたことは払しょくされ、輸出は十分に可能と自信を持った。

出品者自ら売る気で、最新作、自信作や个性的な商品を出展し、欧米市場の要望を満たすという気概を持って対応をし、また、バイヤーとの商談できちっと応答すれば、活路が開けると実感した。

- (1) イギリスのバイヤーは、「ドイツやイタリアなどヨーロッパの靴は自分の近くのショップで売られているが、他店に無い少し変わった差別化の計れる日本の靴に魅力を感じた。」と言っていた。価格は特に問題にならないと言って受け入れられた。
- (2) 東京都ブースで立ち止まり、展示してある靴を指さし、打合せをしている来場者もかなりあり、東京製品に対する関心

の高さが伺えた。

- (3) 展示品に関心を持った来場者に声を掛けると、東京都ブースの商談コーナーまで入り、真剣な商談に入っていた。
- (4) イギリスやアメリカ等の会社からサンプルの受注があった。

#### 5 結語

GDSに出展参加し、私の人生の中で、また、商売の中でも今までにない体験をさせていただき「ありがとう」と言いたい。今後も、自信と誇りを持って仕事に励んでいきたい。また、見聞を広めるため海外の業界の視察や展示会等には積極的に参加したい。



ドイツ製靴工業会専務理事と懇談

#### 〔特別体験〕

私は、ケガのためギブス姿でGDSに臨んだ。

ヨーロッパは、年寄り、病人や怪我人等ハンデのある方に親切で優先してくれる。他人に対する優しさや親切にすることが身につけている。初顔合わせなのにエレベータの乗り降りやホテル、GDS会場等のドアは開け、出入りを確認して、笑顔であたり前のようにしてくれる。セルフサービスの店でもコーヒー等の飲み物や料理などもボーイさんが運んでくれ、福祉国の一端がうかがえ感銘した。

※GDS…ドイツ・デュッセルドルフで開催される世界最大の靴の国際見本市である。